

恐淵リターンマッチ

- 1 メンバー 古賀、阿部
- 2 日程 2009年9月13日(日)
- 3 行動記録

8:10 JR 博多駅筑紫口集合。

メンバー2人なので、私が到着すると既に古賀さん出発待ち状態で、直ぐに荷物を積込んで出発進行。(集合時間より10分早く出発)

軽自動車レンタカーにて、八木山バイパス→飯塚→田川→豊前市へと移動。

10:20 求菩提到着

一番上の食事処レストラン駐車場へこっそり駐車。

帰りに、「駐車禁止！」の札を貼られていないことを祈りながら、入渓口まで移動

10:50 入渓

私は昔ながらの地下足袋+ワラジスタイル、古賀さんは溪流足袋に履き替えて、いざ出発！

入口に釣り客とおぼしき人がいたが、先客はなし。

ちょっとした岩、滝の連続を進む。

関東仕込みの古賀さんスタイル＝出来るだけ水に濡れないように進む！ と、九州仕込みの阿部スタイル＝水濡れ気にせずに、出来るだけ最短距離を進む！ のお互い好きなルートを辿りながら、順調に進む。



そうこうして、ちょっとした第一難関で、阿部は直登ルート、古賀さんは高巻きルートを進む。

直登ルートは、右岸滝壺口の直前で、一瞬泳ぐ形で取り付き、一直線に上流へ。

高巻きルートは、右岸をかなり上まで登り、一般登山道まで登り、少し進んで沢へ戻る。



ここで一般登山道の橋が出現。

12:40 昼食

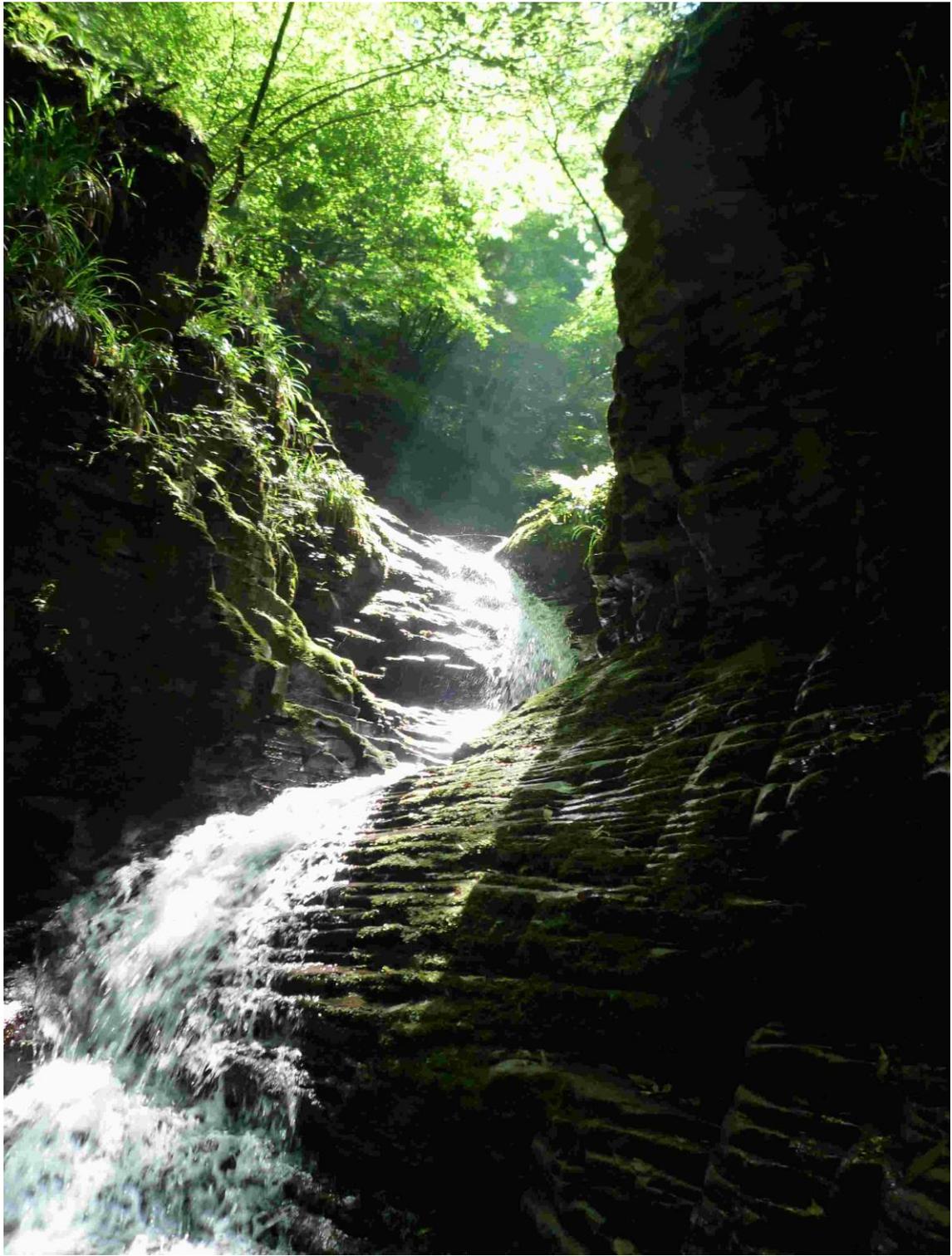


軽い昼食後、行けるところまで行ってみようと言いながら、出発！

両岸が迫る沢の中で、かなり大きな滝出現。

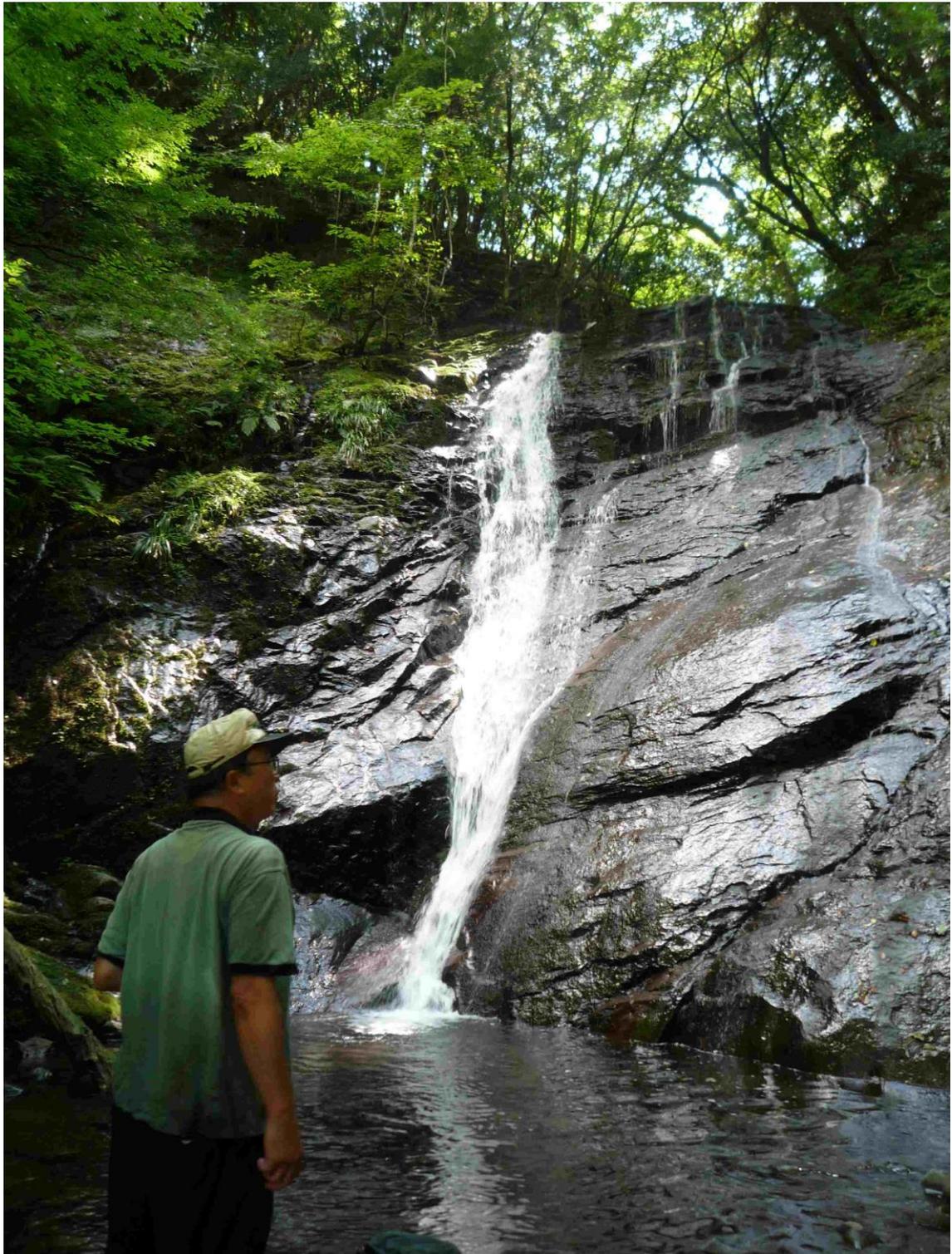
直登は無理と判断し、左岸を高巻く。

次々に出現する滝を登り、トイ状の滝を登ると、20mの大滝が出現。





遡行図では、20mとなっているが、これがそーかー！？とか言いながら、
この滝に登れないことは納得。



右岸の一般登山道へ向けて、斜面を登る。

途中から、滝を見ると、滝壺から見えた上に、更にもう一段滝があることを確認。

なるほど、20mはあるなー！

13:50 一般登山道

今回の沢登りはこれにて終了。

一般道を下山する。

登ってきた沢と並行する登山道を下りながら、ここの沢登りが安心感あることを改めて感じた。

14:50 登山口

かなりずぶ濡れ状態なので、ちょっと遠慮しながら、車に乗り込む。

この点、レンタカーは気楽です。

求菩提ト仙の郷にて温泉に入り、汗を流す。

16:00 温泉発

往路と同一ルートにて、博多へ戻る。

18:30 博多駅(レンタカー返却)

十数年ぶりの沢登りでしたが、かなりリスクで、スリリングな山登りを楽しむことが出来ました。

久々に野生の感を取り戻すことが出来た登山でした。

いつもと違う筋肉の疲れを感じながら、満足感に浸りました。

(阿部功司 記)